

様式第1（第3条関係）（表面）

特定施設（有害物質貯蔵指定施設）設置（使用、変更）届出書

(宛先) 上越市長

法人の場合は主たる事務所の所在地・
名称及び代表者の職・氏名を記入

年 月 日

新潟県上越市〇〇町1-〇-〇
〇〇〇〇株式会社
代表取締役社長 上越 太郎

特定施設を設置しようと
する工場・事業場名を記入

届出者

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項（第6条第1項又は第2項、第7条）の規定により、特定施設（有害物質貯蔵指定施設）について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇〇〇株式会社 〇〇〇工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		新潟県上越市 〇〇町2-〇-〇	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類	65 酸又はアルカリによる 表面処理施設	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙1の2のとおり。	<p>施行令別表第一の特定施設番号を記入 複数の特定施設がある場合はすべてを記入</p> <p>構造・使用方法を変更するときは当該特定施設番号を記入する。他の変更事項の場合は全施設の番号を記入</p>	
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排水水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

有害物質使用特定施設の場合、別紙2（使用の方法）については、以下の点に留意すること
届出様式においては義務とはなっていないが、管理要領、点検頻度、同等以上の点検の内容などについて、必要に応じて添付することが望ましい。

その他参考となるべき事項の欄には、有害物質使用特定施設の場合において、有害物質の製造、処理を行っている場合には、製造、処理を行っている有害物質の種類を記載することが望ましい（届出がなされた特定施設のうち、どの施設が有害物質使用特定施設になるかを把握するため）。なお、有害物質を使用している場合、原材料の欄に記載される場合には、改めて記載する必要はないが、記載されていない場合にはその他参考となるべき事項の欄に記載する。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	A-1	A-2
特定施設号番号及び名称	65 酸又はアルカリによる表面処理施設	66 電気めっき施設
型式	浸漬式 (△△△社製 CM-5)	全自動バレル回転式 (△△△社製 ZB-A1)
構造	鉄製、内部を塩化ビニールライニング（構造図は資料〇のとおり）	鉄製、内部を塩化ビニールライニング（構造図は資料〇のとおり）
主要寸法	槽寸法 ・酸浸槽1m×1m×1.5m×1槽	・装置全体で 1m×10m×1.5m (各槽の寸法は資料〇のとおり)
能力	ねじ 3,000個/日	ねじ 5,000個/日
配置	めっき工場棟1階 (配置は、資料〇のとおり)	めっき工場棟1階 (配置は、資料〇のとおり)
設置年月日	年 月 日 ※使用届の場合に記入。以下同様	年 月 日
工事着手予定年月日	2012年9月24日	2012年9月24日
工事完成予定年月日	2012年10月1日	2012年10月1日
使用開始予定年月日	2012年10月1日	2012年10月1日
その他参考となるべき事項	床面は厚さ100mmのコンクリート 周囲には側溝を設け、流出を防止	有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。 防液堤等については、可能な場合には容量を記入すること。

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号	A-1	A-2
特定施設号番号及び名称	65 酸又はアルカリによる表面処理施設	66 電気めっき施設
設備	地上配管、排水溝、ためます	排水溝
構造	配管 ステンレス製 排水溝、ためます コンクリート製、厚さ50mm	コンクリート製、厚さ50mm
主要寸法	配管 直径100mm×30m 排水溝 幅300mm×深さ200mm×10m ためます 500mm×500mm×400mm	幅300mm×深さ20mm×3m (途中でB-1の排水溝と合流)
配置	めっき工場1階 (配置は資料○のとおり)	めっき工場1階 (配置は資料○のとおり)
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	2012年9月24日	2012年9月24日
工事完成予定年月日	2012年10月1日	2012年10月1日
使用開始予定年月日	2012年10月1日	2012年10月1日
その他参考となるべき事項	配管については、地下配管（トレンチ）、地下配管（埋設）などのケースも考えられる。トレンチの場合はトレンチの構造についても記載すること	

- 備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。
- 2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

「設備」の欄には、施設に付帯する配管等、排水溝等の設備の名称を記載すること
「構造」の欄には、設備の材質を記載するとともに、検知設備を有する場合にはその旨記載すること
「主要寸法」の欄については、設備のうち、主なものについて寸法を記載すること
「配置」の欄については、建物の名称・位置等を記載するとともに、地下に設置されている場合にはその旨を明記すること。
有害物質を含む水が流れない場合には、構造等に関する基準が適用されないため、その他参考となるべき事項の欄にその旨記載すること。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		A-1		A-2	
特定施設番号及び名称		65 酸又はアルカリによる表面処理施設		66 電気めっき施設	
設置場所		めっき工場1階 (配置は資料〇のとおり)		めっき工場1階 (配置は資料〇のとおり)	
操業の系統		〇〇処理を行う ※原料から製品までの製造工程のフローシートを添付し、工程における特定施設を他の施設と区分する。		▲▲めっきを行う	
使用時間間隔		週に2～3日程度使用し、使用時間帯は不規則		10時～16時	
1日当たりの使用時間		4時間		6時間	
使用の季節的変動		なし		6月中旬～7月中旬100%稼働 12月中旬～1月中旬30%稼働 その他 70%稼働	
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量		<前処理行程> 〇〇 <〇〇処理> □□		<前処理行程> 〇〇 <めっき行程> □□	
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	2.5～4.0		10.5～11.3	
	SS	40	60	30	50
	Cr			10	20
	F B			40 10	60 20
汚水等の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		15	30	15	30
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	A-3 (工程排水処理施設)				A-4 (生活排水処理施設)				
処理施設の設置場所	資料〇のとおり				資料〇のとおり				
設置年月日	年 月 日				年 月 日				
工事着手予定年月日	2012年 9 月 24日				2012年 9 月 24日				
工事完成予定年月日	2012年 10 月 1 日				2012年 10 月 1 日				
使用開始予定年月日	2012年 10 月 1 日				2012年 10 月 1 日				
種類及び型式	自動式				合併処理浄化槽 (50人槽)				
構造	鋼板製 (一部コンクリート製)				コンクリート製				
主要寸法	資料〇のとおり				資料〇のとおり				
能力	60m ³ /日				15m ³ /日				
処理の方式	中和+凝集沈殿+砂ろ過				接触ばっ気				
処理の系統	資料〇のとおり				資料〇のとおり				
集水及び導水の方法	資料〇のとおり				資料〇のとおり				
使用時間間隔	連続				連続				
1日当たりの使用時間	12時間				24時間				
使用の季節変動	なし				なし				
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	水酸化ナトリウム6kg PAC 10kg				次亜塩素酸カルシウム0.5kg				
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	1.0	6~8			5~9	6~8		
	BOD					150	15	200	20
	SS	35	8	55	10	150	20	200	25
	Zn	10	不検出	20	0.2				
	F	40	1	60	1.5				
	B	15	1	20	2				
大腸菌群数						<3000		<3000	
量 (m ³ /日)	40	40	60	60	10	10	15	15	
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	汚泥1.0t/月 脱水処理後業者に処分委託 (収集・運搬・処分〇〇興業(株))				汚泥0.1t/月 汚泥は処分委託 (〇〇清掃(株))				
排出水の排出方法	資料〇のとおり				資料〇のとおり				
その他参考となるべき事項	排出水の排出先： 道路側溝→〇〇川				排出水の排出先： 道路側溝→〇〇川				

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		排水口 A - 5		排水口 A - 6	
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	6~8		6~8	
	BOD			15	20
	SS	8	10	20	25
	Zn	不検出	0.2		
	F	1	1.5		
	B	1	2		
大腸菌群数			<3000	<3000	
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項					

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

		指定項目の別									
特定排水水	業種その他の区分	汚染状態 (mg/l)		水 量 (m ³ /日)					汚濁負荷量 (kg/日)		※
		通常	最大	通常	最大	Q _{Co}	Q _{ci}	Q _{Cj}	通常	最大	
	合 計										
特定排水水以外の排水水	種類及び用途	汚染状態 (mg/l)		水 量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)					
		通常	最大	通常	最大	通常	最大				
	合 計										
その他の参考事項											

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
 - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Q_{Co}」を「Q_{no}」と、「Q_{ci}」を「Q_{ni}」と読み替え、Q_{Cj}の項には記載しないこと。
 - 4 リン含有量について記載する場合には、「Q_{Co}」を「Q_{po}」と、「Q_{ci}」を「Q_{pi}」と読み替え、Q_{Cj}の項には記載しないこと。
 - 5 ※印の欄には記載しないこと。

用水及び排水の系統

<p>用水及び排水の系統</p>	<p>水道水 ↓ めっき工程（洗浄等） ↓ めっき排水処理装置 ↓ 排水口</p> <p>※必要に応じ用水及び排水の系統がわかる図面を添付する</p>		
<p>用途別 用水使用量</p>	<p>用途</p>	<p>使用水</p>	<p>用水使用量 (m³/日)</p>
	<p>めっき等工程</p>	<p>水道水</p>	<p>12</p>

有害物質使用特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	B-1	B-2
特定施設番号及び名称	65 酸又はアルカリによる表面処理施設	71-5 トリクロロエチレンによる洗浄施設
型 式	浸漬水式	浸漬水
構 造	鉄槽及びステンレス槽	ステンレス槽
主要寸法	1,000×1,000×1,000 4基 (単位 mm)	4,000×800×2000 (単位mm)
能 力	20m ³ /日	1000kg/日
配 置	資料○のとおり	資料○のとおり
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	2012年9月24日	2012年9月24日
工事完成予定年月日	2012年10月1日	2012年10月1日
使用開始予定年月日	2012年10月1日	2012年10月1日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

有害物質使用特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		B-1		B-2	
特定施設号番号及び名称		65 酸又はアルカリによる表面処理施設		71-5 トリクロエチレンによる洗浄施設	
設置場所		資料〇のとおり		資料〇のとおり	
操業の系統		資料〇のとおり		資料〇のとおり	
使用時間間隔		連続 (9:00~17:00)			
1日当たりの使用時間		8時間		1時間	
使用の季節的変動		なし		なし	
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量		硫酸 8kg クロム酸 15kg		トリクロエチレン 50kg	
汚水等の汚染状態	種類	通常	最大	通常	最大
	六価クロム トリクロエチレン	6	7	—	—
汚水等の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		10	20	0	0
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、有害物質による汚染状態について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号		B-3				B-4			
処理施設の設置場所		資料〇のとおり				資料〇のとおり			
設置年月日		年 月 日				年 月 日			
工事着手予定年月日		2012年 9 月 24日				2012年 9 月 24日			
工事完成予定年月日		2012年 10 月 1 日				2012年 10 月 1 日			
使用開始予定年月日		2012年 10 月 1 日				2012年 10 月 1 日			
種類及び型式									
構造		資料〇のとおり				資料〇のとおり			
主要寸法		資料〇のとおり				資料〇のとおり			
能力		20m ³ /日				10m ³ /日			
処理の方式		還元吸着				接触ばっ気式			
処理の系統		資料〇のとおり				資料〇のとおり			
集水及び導水の方法		資料〇のとおり				資料〇のとおり			
使用時間間隔		連続式 (9:00~17:00)				連続式			
1日当たりの使用時間		8時間				24時間			
使用の季節変動		なし				なし			
消耗資材の1日当たりの用途別使用量		亜炭 3kg 硫酸 1kg 苛性ソーダ 0.5kg				次亜塩素酸ソーダ 1kg			
汚水等の汚染状態及び量	種類	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	六価クロム	6	不検出	7	不検出				
	トリクロエレン	不検出	不検出	不検出	不検出				
	量 (m ³ /日)	10	10	20	20	7	7	10	10
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法		廃トリクロエレン0.5t/月 (産業廃棄物処分：業者委託) 汚泥1.0t/月 (脱水処理後産業廃棄物処分：業者委託)				汚泥0.2t/月 (産業廃棄物処分：業者委託)			
その他参考となるべき事項									

備考 汚水等の汚染状態の欄には、有害物質による汚染状態について記載すること。

特定地下浸透水の浸透の方法

浸透施設の位置		資料〇のとおり							
浸透施設の数		1 施設							
浸透水	工場又は事業場における施設番号	No. 11							
	量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
		10	15						
その他参考となるべき事項									

特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統

<p>用水及び排水の系統</p>	<p>水道水 ↓ 特定施設 ↓ 排水処理施設 ↓ 浸透池</p>		
<p>用途別 用水使用量</p>	<p>用途</p>	<p>使用水</p>	<p>用水使用量 (m³/日)</p>
	<p>製品処理洗浄施設</p>	<p>上水道</p>	<p>9</p>
	<p>生活系用水</p>	<p>上水道</p>	<p>1</p>
	<p></p>	<p></p>	<p></p>
	<p></p>	<p></p>	<p></p>
	<p></p>	<p></p>	<p></p>
	<p></p>	<p></p>	<p></p>

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の構造

工場又は事業場における施設番号	C-1	C-2
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	有害物質貯蔵指定施設
型 式	貯蔵タンク (〇〇社製 △△)	貯蔵タンク (〇〇社製 △△)
構 造	ステンレス製（構造図は資料〇のとおり）	ポリエチレン製（構造図は資料〇のとおり）
主 要 寸 法	直径1500mm×6000mm×2基	1000mm×1000mm×1500mm×1基
能 力	貯蔵量 各10000L	貯蔵量 1500L
配 置	化学工場の屋外に設置 (配置は、資料〇のとおり)	めっき工場の屋外に設置 (配置は、資料〇のとおり)
床 面 及 び 周 囲	床面は厚さ100mmのコンクリートで、エポキシ樹脂で被覆 周囲には防液堤を設け、流出を防止（貯留量〇m ³ ） ※防液堤等について、可能な場合には容量を記入	床面は厚さ100mmのコンクリート 周囲には側溝を設け、流出を防止
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	2012年9月24日	2012年9月24日
工事完成予定年月日	2012年10月1日	2012年10月1日
使用開始予定年月日	2012年10月1日	2012年10月1日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

「配置」の欄には、地下に設置されている場合には、その旨記載すること

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の設備

工場又は事業場における施設番号	C-1	C-2
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	有害物質貯蔵指定施設
設備	地上配管、バルブ、フランジ	なし
構造	ステンレス製	
主要寸法	地上配管 直径200mm×50m バルブ 2箇所 フランジ 3箇所	
配置	化学工場の屋外から化学工場の1階 (配置は、資料〇のとおり)	配管については、 地下配管（トレンチ）、地下配管（埋設）などのケースも考えられる。トレンチの場合はトレンチの構造についても記載すること
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	2012年9月24日	2012年9月24日
工事完成予定年月日	2012年10月1日	2012年10月1日
使用開始予定年月日	2012年10月1日	2012年10月1日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備の配置を記載すること。

「設備」の欄には、施設に付帯する配管等、排水溝等の設備の名称を記載すること
「構造」の欄には、設備の材質を記載するとともに、検知設備を有する場合にはその旨記載すること
「主要寸法」の欄については、設備のうち、主なものについて寸法を記載すること
「配置」の欄については、建物の名称・位置等を記載するとともに、地下に設置されている場合にはその旨を明記すること。
有害物質を含む水が流れない場合には、構造等に関する基準が適用されないので、その他参考となるべき事項の欄にその旨記載すること。

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	C-1	C-2
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	有害物質貯蔵指定施設
設置場所	化学工場の屋外から化学工場の1階 (資料〇のとおり)	めっき工場の屋外に設置 (資料〇のとおり)
操業の系統	〇〇反応施設にベンゼンを供給	廃液の貯蔵
使用時間間隔	1週間に1回	1日に1回
1日当たりの使用時間	1時間/回	5分/回
使用の季節的変動	なし	なし
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量(有害物質使用特定施設の場合に限る。)		
貯蔵する有害物質の種類(有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。)	ベンゼン(〇~〇%)	シアンを含む廃液(含有率〇~〇%)
その他参考となるべき事項		廃液は月〇回の頻度で、産廃として処理を委託している。

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、使用時間間隔の欄及び1日当たりの使用時間の欄には、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載すること。

届出様式においては義務とはなっていないが、管理要領、点検頻度、同等以上の点検の内容などについて、必要に応じて添付することが望ましい。

用水及び排水の系統（搬入及び搬出の系統）

<p>施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）</p>	<p>（化学工場の例） 搬入：タンクローリーから供給 1週間に1回、1時間 搬出：配管をとおり、特定施設である○○施設に供給 連続供給、1日1000L</p> <p>（鍍金工場の例） 搬入：シアンを含む廃液を1日1回、○○を用いて施設に搬入 搬出：産業廃棄物処理業者が用意したタンクに、ホースにて搬出</p> <p>※必要に応じ搬入及び搬出の系統がわかる図面を添付する</p>		
<p>用途別用水量</p>	<p>用 途</p>	<p>使 用 水</p>	<p>用水量(m³/日)</p>
	<p></p>	<p></p>	<p></p>
	<p></p>	<p></p>	<p></p>
	<p></p>	<p></p>	<p></p>
	<p></p>	<p></p>	<p></p>
	<p></p>	<p></p>	<p></p>
	<p></p>	<p></p>	<p></p>

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、用途別用水量の欄には記載しないこと。

○用水及び排水の系統及び搬入及び搬出に関する図面について

記載例：(模式案としたもので、実際は平面図にできるかぎり正確に記載する)

